

第63回全国国保地域医療学会に参加して（アンケート一部抜粋）

【特別講演、教育セミナー】

- ・ 地域に根ざした医療機関とはこういう事をいうのだと思える発表でした。全てに対応するのでなく必要な医療を提供する事が重要だと感じました。
- ・ 全て聴講したいプログラムでした。
- ・ アンガーマネジメントや、対応に注意が必要な患者への関わり方が具体的で良かった。
- ・ 非常にわかりやすく、勉強になりました。
- ・ お話の巧みさに感服しました。

【国診協開設者サミット、シンポジウム】

- ・ 災害のテーマで、よかった。
- ・ 開設者の考え方を聞く良い機会である。
- ・ サイバー攻撃対策の必要性がよくわかりました。
- ・ 他施設での地域医療に携わる人材の育成について知れて良かった。
- ・ 次は、人手不足をテーマにやってほしい。
- ・ 若手医師確保の難しさがよくわかる、永遠のテーマである。地域で医師を迎え入れる、育てる意識も大事。特に診療所は一人医師である。

【専門分科会、口演、ポスター等】

- ・ 同じような案件に課題を感じていたので、大変参考になった。
- ・ 今年はどの分科会に参加するか一本選ぶのに悩みました。どの地域も同じ問題を抱えていて、とにかくやっていくしかない、進めるしかない今自分の地域に必要で、何が可能か、工夫して進めてみようと思いました。
- ・ 自施設でも取り入れることにできるヒントが沢山ありました。
- ・ 能登の歯科の取り組みは面白い。
- ・ プログラムが同時刻に横並びでなければ他のところも聞きたかった。
- ・ 健口から健幸へというテーマに対して、3者それぞれの立場から活動紹介等行われ、それぞれが多職種協働についての重要性についても発表しておられた。それを地域で広めていくにあたりどうすれば良いのか、各発表をもう少し時間短めにしていただいて、3人の先生方のディスカッションの場面を作っていただけると、会場との意見交換も活発になったかもしれないと感じました。
- ・ 若い先生方が地域医療に取り組まれている状況を知ってとても元気な気持ちになりました。若手の会がもっと広がって全国各地でいい取り組みが広がればいいと思いました。自分は行政にいたので行政との付き合い方が課題と聞いて残念でした。行政の認識も変わっていくのでともに理解できて相乗効果が生まれるといいなと思います。
- ・ 同じような施設の話は分かりやすく、参考になった。
- ・ はじめて、ポスター発表させていただきました。視聴者がすぐ近くにいることで、とても緊張しましたが、熱心に聞いてくださるパワーを感じ、参加してよかったです。学会ということで、調査、研究を新たにしないといけないと思っていましたが、報告中心の演題もあり、日頃の事業の振り返りとして、取り組むいい機会になると感じました。今後、また機会があれば、参加したいです。学会の運営にあたられたみなさま、貴重な機会をどうもありがとうございました！
- ・ 全国国保レベルの様々な職種の課題や取り組みに感化させていただきました。様々な視点や気づきや取り組みは医療において大きな力だと思います。今後とも幅広い視点での学会でありますように。